

①行政機関でのコロナウイルスに関する影響
(行政の対応・休業措置などの地域経済について)

町村名	聞き取り内容
音更町	<p>【5月22日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各方面に多大な影響を受け、特に基幹産業の1つである十勝川温泉を中心とする観光業や飲食業では、事業継続に係る大問題に。 ○町独自事業で、町内事業所の利用促進をする支援体制の整備を進めた。 →町内宿泊施設や飲食店の経営者に給付金を支給、町民に飲食店応援クーポン配布や宿泊助成事業の実施等。 ○審査会や会議等は全て書面会議。延期した内容もあり(自立支援協議会は6月以降に人数限定で実施予定)。
士幌町	<p>【5月22日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町内施設の利用制限、町主催のイベントの中止。 →それに伴い町内の障がい福祉サービスの作業活動が減少。作業活動の代替案も兼ね、社会福祉協議会のボランティア団体と町内事業所の活動として、『町内の高齢者等に配布用の手作りマスクの作成』の取組みを行った(地方創生臨時交付金を活用)。 ○町内企業等の影響については現時点では聞こえていない。
鹿追町	<p>【6月3日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3密を避けるよう、会議等は書面会議。 ○公共施設は5/25まで休館。その後も利用者制限やソーシャルディスタンスを意識した取組み継続。 ○役場内事務所・勤務日・時間・休憩時間の分散。 ○役場職員に対し、飲食店からの持ち帰り・弁当の注文を推奨。 ○町内の一部飲食店等は4月中旬からゴールデンウィーク明けまで休業。
上士幌町	<p>【6月11日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○審査会は、道の指針に合わせて、会議室使用時の人数制限をしつつ実施。 ○観光業、娯楽業が影響。 ○町独自施策について、第3次まで実施(プレミアム商品券発行、観光・飲食業者持続化支援事業、小規模事業者持続化支援事業、商店街活性化対策事業等)。 ○マスクを1世帯毎に10枚配布(地方創生臨時交付金を活用)。 ○町内の障がい福祉サービス事業所は、休止等せずサービス提供を継続。4月下旬~5月末まで半日毎の時差利用等により感染予防対策。 ○公共施設休館に伴い、生涯学習センターの喫茶作業が休止(清掃作業のみ継続)。6月より通常開所。
本別町	<p>【5月28日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○役場内の窓口をビニールシート張りや消毒にて対応。 ○障がい福祉サービス事業所では毎朝の検温・体調不良者へは別室作業で対応等行い現状休業はない。 →事業所訪問等で聞き取りや状況把握がスムーズに行えている。
足寄町	<p>【6月11日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○休校に伴い児童館・学童、日中一時支援事業所を休止。 ○臨時的に、障がい福祉サービス等(通所支援)の在宅支援を可とした。 ○障がい支援区分の1年間の延長措置を実施。
陸別町	<p>【6月29日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5月1日より、コロナウイルス感染症への対応に伴う障がい福祉サービスの臨時的な取り扱い通知を発行(別紙添付資料あり)。 →東北部十勝3町での統一書式を利用。

<p>浦幌町</p>	<p>【6月8日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共施設等の閉館、飲食店等の休業要請。 ○全町民へマスク配布。 ○庁舎内の感染リスク軽減の取組み(マスク装着、消毒、会議や行事の中止・規模縮小、時差出勤等)。 ○町内の飲食店等で、時短営業はあったが閉店企業はない。
<p>豊頃町</p>	<p>【6月8日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緊急非常事態宣言中に、公共施設の休館や各種行事・介護予防・検診事業等が休止。 ○町内飲食店等に対し、公的援助・役場職員互助会・役場職員組合で支援を実施(町内飲食店5ヶ所の食事券を町民へ配布)。 →特産物の漁業で鮮魚価格の落ち込みはあったが、失業等の情報は聞こえていない。 ○ボランティア団体にてマスクを作成し、小・中学校へ配布。残ったものを役場・社会福祉協議会にて保管(※材料費は地方創生臨時交付金ではなく、防災事業費から捻出)。
<p>幕別町</p>	<p>【6月17日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商工会・観光物産協会に加盟する企業にアンケート方式で影響調査を実施(3月初旬・4月下旬)。 ○町・金融機関・商工会・社会福祉協議会による意見交換会を実施(4月中旬・5月中旬)。 ○町独自で、各種給付金の対象とならない事業者へ給付金を支給。 ○売上の落ち込みが著しい飲食店・ホテル等へ給付金を支給。 ○スーパープレミアム商品券の発行。 ○町民限定で町内宿泊施設の宿泊費助成。 ○特別定額給付金は5月中に給付開始。
<p>池田町</p>	<p>【6月17日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町外の障がい福祉サービスを利用し、時間短縮や通勤時に交通機関の利用がある等の事情から、事業所やご本人からの心配や申し出があり、国の通知に基づき在宅支援を進めた。
<p>更別村</p>	<p>【5月21日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域経済に影響。該当事業所には村から助成金を支給。 ○村内の障がい福祉サービス事業所に対し、マスク750枚・消毒液を提供。
<p>中札内村</p>	<p>【5月21日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道の休業補償により、村内の飲食店等は要件に係る5月15日頃までは一時休業。それ以降はほとんどの箇所が営業を再開。 ○村独自事業で、各企業へ休業支援金を上乗せ支給。
<p>大樹町</p>	<p>【6月23日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス対策本部の設置(2月28日)。 ○町主催の行事・イベントの中止。 ○小・中学校、子ども園、保育所等臨時休業。 ○飲食店の休業・短縮営業(道の緊急事態措置による補償)。 ○町内飲食店で使えるクーポン券の配布(500円を2枚ずつ)。 ○全家庭へマスクの配布(1人2枚ずつ。災害対策用の備蓄を活用)。 ○観測ロケットMOMO5の打上げ自粛(延期)要請(※町として自粛要請をしたのはこの件のみ)。
<p>広尾町</p>	<p>【6月23日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町の新型コロナウイルス感染予防対策会議の内容に従い、障がい福祉サービス事業所での対応方針を検討。 →実際に、各時間帯毎の利用者数を減らし対応等。 ○事業所へ来ていない方への安否確認等を実施。 ○町内の高齢者へマスクを配布(町に備蓄していた在庫を活用、郵送料に地方創生臨時交付金を活用)。 →障がいをお持ちの方の就労体験として、マスクの検品作業を実施。

<p>清水町</p>	<p>【5月27日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町主催の行事や会議について、全て書面会議。 ○一部の公共施設は5月31日まで利用禁止。 ○商工会に対する支援策として、商品券の発行。 ○飲食店に対し、弁当等の物販を役場内で協力。 ○町内の中小企業に緊急支援事業給付金、福祉・医療施設等に感染拡大防止支援金を助成する提案。
<p>新得町</p>	<p>【5月27日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光業、飲食業に大きな影響。付随する業種（仕入れ、クリーニング等）も同様。 ○農業、肉牛の価格下落。牛乳の消費も下降。 ○役場内の窓口にビニールのついたてを設置(町内の大工が作成)。
<p>芽室町</p>	<p>【6月3日訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自粛要請を受け、障がい福祉サービス・各種手帳・有料道路通行料金の割引等、道からの通知通りに実施。 ○町内の障がい福祉サービス事業所について、在宅支援の対応等の事例はなかった。